

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 アリアケジャパン株式会社
 コード番号 2815 URL <http://www.ariakejapan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田川 智樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室 部長 (氏名) 宮川 明夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東

TEL 03-3791-3301

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,072	—	801	—	613	—	285	—
20年3月期第1四半期	5,320	4.2	962	△28.3	990	△27.7	628	△26.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	8.97	—	—	—
20年3月期第1四半期	19.53	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年3月期第1四半期	50,453		42,586		83.9	1,330.04		
20年3月期	51,416		43,251		84.1	1,349.94		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 42,336百万円 20年3月期 42,969百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	—	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	—	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	11,423	—	1,738	—	1,619	—	742	—	23.31	
通期	24,243	5.6	4,100	0.6	4,182	19.7	2,100	13.5	65.97	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	32,808,683株	20年3月期	32,808,683株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	978,112株	20年3月期	977,950株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	31,830,594株	20年3月期第1四半期	32,161,481株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)におけるわが国経済は、エネルギーや原材料価格の騰勢がおさまらず、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱が続く中、景気の減速懸念が高まり、個人消費も伸び悩みました。

食品業界では、上記の影響により原材料や資機材が軒並み上昇しました。また「食の安心・安全」に係わる事件も頻発し、食品に対する消費者の不信感が一層増幅するなど、消費の落ち込みに拍車をかけております。さらに業界内での競争も激化し、非常に厳しい経営環境に置かれました。

このような状況下において当社グループは、天然調味料のリーディングカンパニーとして既存事業の拡充と新規事業の展開を図り、品質や安全衛生管理に万全の体制をとり「食の安全」と「高品質」に注力して、安定的な成長を実現すべく、全社をあげて収益向上に努めました。

具体的には、欧州工場を6月にスタートさせ、特徴ある新製品を量産することにより、海外および国内でのマーケティングに着手いたしました。この新製品は、国内外に於いて用途も多く、特に国内で低迷する需要を喚起すべく諸対策を講じております。

このような諸施策の結果、当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)の経営成績は、以下の通りとなりました。

まず、売上高は、当社(アリアケジャパン(株))は厳しい環境の中で拡販に努めましたが、原油の高騰に伴う諸物価の値上がりによって消費が大幅に減退したこと、食品業界内の熾烈なマーケット争い等により、主として中食や即席麺分野での減収が響き、前年同期比で3.1%減の4,481百万円となりました。

一方、連結売上高は、アリアケジャパン(株)の売上減少の他、海外子会社の一時的な売上減もあって、前年同期比で4.7%減の5,072百万円となりました。

次に経常利益は、当社は売上高が減少したことによる利益減の他、原材料費等の増加(約146百万円増)などの影響によって前年同期比187百万円減少(前年同期比19.2%減)し、786百万円となりました。

連結経常利益は、当社の利益減に加えて欧州2工場の稼働前費用が増加(約168百万円)したため、前年同期比376百万円減(前年同期比38.0%減)の613百万円となりました。

四半期純利益につきましては、当社は459百万円、連結四半期純利益は285百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は、大型設備投資が一巡した事により、安定的な収益増に伴う資金増の傾向となります。

総資産は、減価償却進行に伴う固定資産減少等の結果、前連結会計年度末に比べ963百万円減少し50,453百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ297百万円減少して7,866百万円となりました。

純資産は、主として配当金の支払の結果、前連結会計年度末に比べ665百万円減少し、42,586百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として順調な事業運営に伴う利益によるもので、563百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として設備投資に伴う固定資産の増加により△352百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金支払によって、△323百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、11,477百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績については、現時点では平成20年5月16日開示の数値から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③税金費用の計算

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当第 1 四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成18年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これにより損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年 5 月 17 日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これにより損益に与える影響はありません。

④重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の要件を満たす外貨建金銭債権債務に係る為替予約取引については、従来、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理を、予定取引に係る為替予約については繰延ヘッジ処理を採用しておりましたが、財務管理体制を踏まえて検討した結果、外貨建金銭債権債務及びデリバティブ取引の状況をより適正に連結財務諸表に反映させるため、当第 1 四半期連結会計期間から「金融商品に関する会計基準」による原則的処理に変更しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を 9 年としておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より 10 年に変更しました。この変更は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の一部改正によるものであります。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,477,746	11,620,276
受取手形及び売掛金	4,239,206	4,637,999
担保差入有価証券	※3 30,280	※3 126,949
商品	102,251	79,424
製品	1,779,866	1,560,219
原材料	1,179,998	1,031,260
仕掛品	428,617	485,944
繰延税金資産	110,506	98,019
未収消費税等	342,645	342,645
その他	※3 682,967	※3 540,773
貸倒引当金	△6,893	△8,232
流動資産合計	20,367,193	20,515,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,289,456	18,765,575
減価償却累計額	△6,147,273	△6,043,107
建物及び構築物（純額）	13,142,183	12,722,468
機械装置及び運搬具	19,720,973	20,019,801
減価償却累計額	△12,053,274	△12,050,484
機械装置及び運搬具（純額）	7,667,699	7,969,317
土地	4,557,647	4,577,379
建設仮勘定	1,088,827	1,767,172
その他	854,654	892,950
減価償却累計額	△712,110	△710,690
その他（純額）	142,543	182,259
有形固定資産合計	26,598,901	27,218,597
無形固定資産	108,638	116,936
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 1,857,308	※1 1,765,954
長期貸付金	98,881	97,222
投資不動産	※2 562,088	※2 563,656
繰延税金資産	212,068	487,612
その他	648,342	651,442
貸倒引当金	△235	△272
投資その他の資産合計	3,378,455	3,565,618
固定資産合計	30,085,995	30,901,151
資産合計	50,453,189	51,416,433

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,880,600	1,924,413
短期借入金	2,772,191	2,693,236
未払法人税等	361,900	667,008
賞与引当金	45,857	143,697
役員賞与引当金	—	59,700
その他	※3 1,461,956	※3 1,018,342
流動負債合計	6,522,506	6,506,398
固定負債		
退職給付引当金	596,680	604,370
役員退職慰労引当金	267,256	263,019
繰延税金負債	—	98,796
その他	480,409	691,931
固定負債合計	1,344,346	1,658,118
負債合計	7,866,852	8,164,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	29,174,565	29,366,388
自己株式	△2,056,111	△2,055,864
株主資本合計	42,047,419	42,239,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,761	△9,228
繰延ヘッジ損益	—	△224,189
為替換算調整勘定	262,902	963,503
評価・換算差額等合計	288,664	730,085
少数株主持分	250,251	282,342
純資産合計	42,586,336	43,251,917
負債純資産合計	50,453,189	51,416,433

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,072,105
売上原価	3,306,403
売上総利益	1,765,702
販売費及び一般管理費	※1, ※2 963,848
営業利益	801,853
営業外収益	
受取利息	9,978
受取配当金	26,066
受取家賃	6,989
為替差益	20,231
有価証券売却益	17,924
その他	47,684
営業外収益合計	128,874
営業外費用	
支払利息	29,556
デリバティブ評価損	31,375
海外新事業費用	233,549
その他	22,363
営業外費用合計	316,843
経常利益	613,884
特別利益	
固定資産売却益	※3 1,784
特別利益合計	1,784
税金等調整前四半期純利益	615,669
法人税、住民税及び事業税	332,853
少数株主損失(△)	△2,821
四半期純利益	285,637

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	615,669
減価償却費	485,053
のれん償却額	4,915
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,690
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,237
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△97,839
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59,700
受取利息及び受取配当金	△36,044
支払利息	29,556
為替差損益 (△は益)	△12,605
有価証券売却損益 (△は益)	△17,924
有価証券評価損益 (△は益)	2,579
売上債権の増減額 (△は増加)	356,256
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△396,468
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,054
その他	322,394
小計	1,167,958
利息及び配当金の受取額	36,044
利息の支払額	△29,556
法人税等の支払額	△611,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△300,620
有価証券の売却による収入	296,861
有形固定資産の取得による支出	△347,527
有形固定資産の売却による収入	1,934
貸付けによる支出	△3,301
貸付金の回収による収入	1,554
その他	△1,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	120,574
自己株式の取得による支出	△246
配当金の支払額	△444,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△142,530
現金及び現金同等物の期首残高	11,620,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 11,477,746

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第 1 四半期連結累計期間(自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第 1 四半期連結累計期間(自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,576,589	495,516	5,072,105	—	5,072,105
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,621	254,054	260,675	(260,675)	—
計	4,583,210	749,570	5,332,781	(260,675)	5,072,105
営業利益	780,295	(27,204)	753,091	48,762	801,853

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域……米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国

c. 海外売上高

当第 1 四半期連結累計期間(自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日)

	北米	アジア	計
I 海外売上高(千円)	157,711	359,548	517,260
II 連結売上高(千円)	—	—	5,072,105
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	3.1	7.1	10.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……米国

(2) アジア……中華人民共和国(香港含む)、中華民国、大韓民国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	5,320,082
II 売上原価	3,375,475
売上総利益	1,944,606
III 販売費及び一般管理費	982,324
営業利益	962,282
IV 営業外収益	114,504
(うち受取利息及び配当金)	(35,473)
V 営業外費用	86,093
(うち支払利息及び割引料)	(10,565)
経常利益	990,692
VI 特別利益	—
VII 特別損失	892
税金等調整前四半期純利益	989,800
法人税、住民税及び事業税	356,403
少数株主利益	(減算) 5,216
四半期純利益	628,179

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	989,800
減価償却費	491,527
受取利息及び受取配当金	△35,473
支払利息	10,565
売上債権の増加額又は減少額	74,402
たな卸資産の増加額又は減少額	△297,603
仕入債務の増加額又は減少額	78,498
その他	17,946
小 計	1,329,663
利息及び配当金の受取額	35,473
利息の支払額	△10,565
法人税等の支払額	△810,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,449
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,617,405
投資有価証券の取得による支出	△1,579
貸付金の回収による収入	1,476
その他	△7,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,625,266
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額又は純減少額	1,651,042
自己株式の取得による支出	△251,526
配当金の支払額	△450,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	949,199
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△558
V. 現金及び現金同等物の減少額	△132,176
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	12,928,393
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,796,217

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第 1 四半期連結累計期間 (自平成19年 4 月 1 日 至平成19年 6 月30日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第 1 四半期連結累計期間 (自平成19年 4 月 1 日 至平成19年 6 月30日)

(単位：千円)

	日本	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,736,771	583,311	5,320,082	—	5,320,082
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,351	303,190	317,542	(317,542)	—
計	4,751,123	886,501	5,637,624	(317,542)	5,320,082
営業費用	3,912,097	816,767	4,728,865	(371,064)	4,357,800
営業利益	839,025	69,733	908,759	53,522	962,282

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域 ・ ・ ・ ・ 米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国